

大項目	小項目	内容	入力様式	入力条件
	2 対人関係の構築・維持に関する支援(スタッフ・家族・近隣住民など)	支援の有無を記入	チェック式	
	3 家族への支援(情報提供・エンパワメントなど)	支援の有無を記入	チェック式	
支援開始時の支援計画(つづき)	4 精神症状の悪化や増悪防止に関する支援(服薬支援・受療支援・危機介入など)	支援の有無を記入	チェック式	
	5 身体症状の発症や進行防止に関する支援(医療処置・服薬支援・受療支援など)	支援の有無を記入	チェック式	
	6 社会生活に関する支援(家探し・大家交渉・引越しなど)	支援の有無を記入	チェック式	
	7 住環境に関する支援(交通・IT・公的手続きなど)	支援の有無を記入	チェック式	
	8 就労・教育に関する支援(職探し・職場調整・ジョブコーチなど)	支援の有無を記入	チェック式	
	9 その他	支援の有無を記入	チェック式	
	(具体的にご記入ください)	支援計画内容に9その他 を選択した場合その内容を具体的に記入	直接入力	
Global Assessment of Functioning	GAF 得点	GAF 得点を記入(単位 点)	直接入力	
Social Behaviour Schedule	1 コミュニケーション	0 自発的にできる 1 自発的にできるが長く続かない 2 ほとんどできないが、時に自発的に話す 3 拒否的 4 応答しない	プルダウン式	
	2 会話内容の一貫性	0 一貫性あり 1 時々つじつまが合わない 2 しばしばつじつまが合わない 3 頻繁につじつまが合わない 4 常に一貫性がない	プルダウン式	
	3 会話の奇妙さ	0 奇妙さはない 1 時々奇妙 2 しばしば奇妙 3 とても頻繁に奇妙な話題 4 常に奇妙な話題	プルダウン式	
	4 社会との適切な接触	0 対応できる 1 時々不適切 2 しばしば不適切 3 ほとんどいつも不適切 4 対応できない	プルダウン式	
	5 敵意に満ちた交流	0 ほとんどなし 1 時々軽度の敵意がある 2 しばしば敵意や脅しがある 3 ほとんどの接触は敵意ある言葉による 4 頻繁な敵意のある言葉や動作	プルダウン式	

大項目	小項目	内容	入力様式	入力条件
	6 関心をひく振る舞い	0 なし 1 時々関心をひこうとするが、周囲が他人に関心を向けても気にしない 2 時々関心をひき、周囲が他人に関心を向けると怒る 3 常に他人の関心を要求する 4 常に他人の関心を要求し、周囲が他人に関心を向けると怒る	ブルダウン式	
	7 自殺・自傷の企図と行動	0 なし 1 間接的にほのめかず 2 直接的に語る 3 何らかの自殺企図や自殺行為をほのめかす行動 4 重大な自殺企図または自殺行為	ブルダウン式	
	8 パニック・恐怖心	0 なし 1 時々軽度の不安がある 2 不安や緊張があるが、何とか生活ができる 3 ほとんどいつも不安があるか不安発作が頻発する 4 常に極度の緊張・不安がある	ブルダウン式	
	9 過活動性	0 なし 1 時々ある 2 しばしばある 3 頻繁にある 4 長時間、定期的にある	ブルダウン式	
	10 独語、空笑	0 なし 1 時々ある 2 しばしばある 3 頻繁にある 4 きわめて頻繁にある	ブルダウン式	
	11 妄想の行動化	0 なし 1 月 1 回あった 2 月 2 回あった	ブルダウン式	
	12 奇妙な姿勢、動き	0 なし 1 時々ある 2 しばしばある 3 頻繁にある 4 きわめて頻繁にある	ブルダウン式	
	13 ひんしゆく・マナー	0 礼儀正しい 1 おおむね礼儀正しい 2 時々ひんしゆくをかう行為がある 3 しばしばひんしゆくをかう行為がある 4 ほとんどがひんしゆくをかう振る舞いである	ブルダウン式	
	14 破滅的行動	0 なし 1 時々物を壊すという脅すが、破滅行為はない 2 しばしば物を壊すという脅す 3 1 か月以内に怒りにまかせて物を壊したことがある	ブルダウン式	
Social Behavior Schedule (つづき)	15 抑うつ	0 なし 1 時々ある 2 週 1 回程度で長期の抑うつがある 3 頻繁にある	ブルダウン式	
	16 性的逸脱行動	0 なし 1 いくらか性的なこと心に奪われている 2 しばしば、好ましくない性的接近をするなど、不適切な振る舞いがある 3 しばしば陰部を露出するなど、明らかに不適切な性的振る舞いがある 4 頻繁に、度を越した振る舞いがあり、家庭生活や社会生活に支障がある	ブルダウン式	
	17 身だしなみ・清潔度	0 注意を要しない 1 時々注意を要する 2 不適切で奇妙な格好のため、しばしば身なりに注意を要する 3 清潔に無頓着であり、かなり注意や助言が必要 4 著しく清潔に無頓着・注意しなければ汚臭や失禁の恐れがある	ブルダウン式	
	18 動きの鈍さ	0 なし 1 時々中程度にあるが、普段はない 2 中程度に動作が鈍い 3 常に中程度に動きが鈍く、時には極めて遅くなる 4 極めて動きが鈍い	ブルダウン式	
	19 異常な活動性の低さ	0 なし 1 時々あるが、普段はなし 2 ある 3 しょっちゅうあり、極めて活動性が低い時もある 4 極めて活動性が低い	ブルダウン式	
	20 集中力	0 問題なし 1 集中できない時がある 2 一度に数分だけ集中できる	ブルダウン式	
	21 社会的適応を妨げる行動	0 そのような行動異常はみられない 1 過去 1 か月以上前にあった 2 過去 1 か月以内に数回あった 3 頻繁にある 4 かなり頻繁にある	ブルダウン式	

図 1：調査票 A の入力画面の例

調査票 A の編集

新規調査票 A

このページのヘルプ

調査票 A の編集

保存
保存 & 新規
キャンセル

I = 必須情報

情報

調査票 A 名

利用者 ID

記入日 [2012/03/19]

入力したスタッフ ID

I. 支援開始時

1 性別

2 年齢

3 婚姻状況

4 世帯状況

父親
 母親
 兄弟姉妹

5 居住形態

6 経済状況

01 本人の収入
 02 家族の収入
 03 障害者年金

7 就労状況

II. 支援開始時および開始前 18ヶ月間における支援対象者の状況

1 対象者の類型

2 主診断名

2-10 記入欄

3 身体合併症

4 主たる精神疾患の発症年齢(歳)

5 発症から初診までの期間(ヶ月)

6 過去 18 か月間の入院期間

7 精神障害者保健福祉手帳

0701 綴

8 自立支援医療費

0801 開始

0801 終了

9 現在の服薬状況

II. 1.1 利用した医療保険サービス

1101 精神科通院医療

1101 (回/週)

1101 開始

1101 終了

1102 精神科訪問看護

b. 日報の入力

表 2:平成 23 年度 日報の概要

大項目	小項目	内容	入力様式	入力条件
情報	日報名	0-9 からなる 6 桁の数字 YYMMDD 例 120603	直接入力	必須
	スタッフ	s+0-9 からなる 2 桁-1 桁-3 桁の数字 例 s98-7-654	直接入力 (選択可)	
	利用者	0-9 からなる 2 桁-1 桁-3 桁の数字 例 12-3-456	直接入力 (選択可)	
	日付	0-9 からなる 4 桁/2 桁/2 桁の数字 YYYY/MM/DD 例 2012/06/03	直接入力 (選択可)	
	開始時間	0-9 からなる 6 桁の数字 例 201004	直接入力	
	終了時間	0-9 からなる 6 桁の数字 例 201004	直接入力	
	手段	チーム所有者、自家用車、チーム所有バイク、自家用バイク、チーム所有自転車、自家用自転車、バス、電車、徒歩、電話、電子メール、FAX、対象者からの訪問、その他	選択式	
	交通費	0-9 からなる数字を入力(単位 円)	直接入力	
	移動時間	0-9 からなる数字を入力(単位 分)	直接入力	
経過記録	経過記録	経過を記載	直接入力	
ケア内容:情報	分類1	12 項目から選択。1.ケア計画の作成・ケアマネジメント 2.日常生活の維持・生活技術の拡大・獲得 3.対人関係の維持・構築 4.家族への援助 5.精神症状の悪化や憎悪を防ぐ 6.身体症状の発症や進行を防ぐ 7.社会生活の援助 8.住環境に関する援助 9.就労・教育に関する援助 10.対象者のエンパワメント(上記 1~9 の領域と重複可)11.その他 12.上記以外のケア	選択式	
	分類2	分類1で、1.ケア計画の作成・ケアマネジメント を選択した場合	9 項目から選択。1)ケアへの導入への本人への働きかけ 2)本人・家族との関係づくり 3)アセスメントの実施(再実施含む) 4)利用できるサービス内容や社会資源に関する基本的な情報の提供 5)ケア計画の作成(再作成含む) 6)ケア会議の開催(再開催含む)※ケア会議報告に詳細記載 7)サービスや社会資源の利用導入のための援助(情報提供・付添見学など) 8)サービスや社会資源の利用状況のモニタリング(利用状況の確認、通所の支援など) 9)関係機関・関係者との連絡・調整	選択式

大項目	小項目	内容	入力様式	入力条件
ケア内容:情報 (つづき)	分類1で、2.日常生活の維持・生活技術の拡大・獲得 を選択した場合	9項目から選択。1)食生活(食事内容・程度・調理など)に関する援助 2)活動性・生活リズム に関する援助 3)生活環境の整備(洗濯・掃除・生活用品など)に関する援助 4)整容(身体保清・服装など)に関する援助 5)金銭管理(収支バランス・予算・節約など)に関する援助 6)安全確保(火気取扱い・防犯など)に関する援助 7)家庭内役割(育児・介護など)に関する援助 8)趣味・余暇活動に関する援助 9)買い物に関する援助	選択式	
	分類1で、3.対人関係の維持・構築 を選択した場合	6項目から選択。1)スタッフとの関係性の構築 2)コミュニケーション能力を高める援助(感情の表出・コミュニケーションスキルを高める援助) 3)他者(友人や異性)との関わりに関する援助 4)他の医療福祉スタッフとの関わりに関する援助 5)家族との関係に対する本人への援助 6)近隣の住民との関わりに関する援助	選択式	
	分類1で、4.家族への援助 を選択した場合	3項目から選択。1) 本人との付き合い方に対する家族への援助(本人への接し方、症状・服薬に関する情報提供・心理教育など) 2)家族自身の困難(自身の経済・健康問題等)や将来・生活設計に関する援助 3)家族へのエンパワメント(ねぎらう・対処を肯定的に評価する・自己効力感を高める)	選択式	
	分類1で、5.精神症状の悪化や憎悪を防ぐ を選択した場合	6項目から選択。1)精神症状に関する援助(妄想・幻覚・不安のアセスメント、症状対処に関する援助など) 2)睡眠の援助 3)服薬行動援助(内服確認・頓服の飲み方指導・服薬準備等) 4)通院行動の援助(受診付き添い・通院確認など) 5)危機時の介入(自傷他害、症状悪化、緊急の受診・入院など) 6)薬物療法の副作用の観察と対処(パーキンソン症状・口渇など)	選択式	
	分類1で、6.身体症状の発症や進行を防ぐ を選択した場合	4項目から選択。1)身体症状の観察と対処(バイタルサイン測定・未治療の身体症状の対応) 2)身体合併症の観察と対処(インシュリン注射など医療処置を含む) 3)生活習慣(喫煙・飲酒・運動・栄養)に関する援助 4)排泄(排泄状況の確認・排泄コントロール)の援助	選択式	
	分類1で、7.社会生活の援助 を	2項目から選択。1)交通機関の利用や移動に関する援助 2)銀行・郵便局・役所、電話・インターネットなどの	選択式	

大項目	小項目	内容		入力様式	入力条件	
ケア内容:情報 (つづき)		選択した場合	利用の援助			
		分類1で、8.住環境に関する援助を選択した場合	2項目から選択。1)住居確保に関する援助(家探し・手続き・引っ越しなど) 2)住居環境を保つための援助(修繕・大家交渉など)	選択式		
		分類1で、9.就労・教育に関する援助を選択した場合	3項目から選択。1)求職・就労開始の援助(職探し、面接同行、職場調整など) 2)就労継続に関する援助(ジョブコーチ、職場調整など) 3)教育・修学に関する援助	選択式		
		分類1で、10.対象者のエンパワメントを選択した場合	3項目から選択。1)不安の傾聴・軽減 2)自己効力感、コントロール感を高める援助 3)肯定的フィードバック(できていることをねぎらう・支持する)	選択式		
		分類1で、11.その他を選択した場合	3項目から選択。1)自己研鑽(参考図書、研修会など) 2)アウトリーチチーム運営に関する事務作業(ケースに因らない全体的なもの) 3)本研究のために使用した時間(日報、ケア会議記録など)	選択式		
		ケア時間	0-9 からなる数字を入力(単位 分)		直接入力	
		記入欄	グループ形式による支援等を記載		直接入力	
		日報	0-9 からなる 6 桁の数字 YYMMDD 例 120603		直接入力	必須

図 2：日報の入力画面の例

日報の編集 このページのヘルプ

新規日報

日報の編集 保存 保存 & 新規 キャンセル

情報 ! = 必須情報

日報名

スタッフ

利用者

日付 [2012/03/19]

開始時間

終了時間

手帳

交通費

移動時間

経過記録

経過記録

保存 保存 & 新規 キャンセル

ケア内容の編集 このページのヘルプ

新規ケア内容

ケア内容の編集 保存 保存 & 新規 キャンセル

情報 ! = 必須情報

分類1

分類2

ケア時間

12. 記入欄

日報

保存 保存 & 新規 キャンセル

c. ケア会議の入力

表 3:平成23年度 ケア会議の概要

大項目	小項目	内容	入力様式	入力条件
情報	会議カテゴリー	申し送り・定時ミーティング、ケースカンファレンス、判定会議、検討委員会、その他	プルダウン式	
	ケア会議名	ケア会議の名称を記入	直接入力	必須
	開催年月日	0-9 からなる 4 桁/2 桁/2 桁の数字 YYYY/MM/DD 例 2012/06/03	選択式 (直接入力可)	
	開始時間	0-9 からなる 4 桁の数字 HHMM 例 1330	直接入力	
	終了時間	0-9 からなる 6 桁の数字 HHMM 例 201004	直接入力	
	コーディネータ	s+0-9 からなる 2 桁-1 桁-3 桁の数字 例 s98-7-654	選択式 (直接入力可)	
	参加したアウトリーチ チームメンバー	s+0-9 からなる 2 桁-1 桁-3 桁の数字 例 s98-7-654	選択式	複数選択可
	話し合いの対象になっ た支援対象者	0-9 からなる 2 桁-1 桁-3 桁の数字 例 12-3-456	選択式	複数選択可
	参加したアウトリーチ チーム以外のメンバー	職種・所属・立場及び、人数を記入	直接入力	
	会議の内容	会議の内容を記入	直接入力	

図 3 : ケア会議入力画面の例

ケア会議の編集 このページのヘルプ ?

ケア会議の編集 保存 保存 & 新規 キャンセル

情報 ! = 必須情報

会議カテゴリ

ケア会議名

開催年月日

開始時間

終了時間

コーディネータ

参加したアウトリーチチームメンバー

利用可	選択済み
S01-1-001	
S01-1-002	
S01-1-003	
S01-1-004	
S01-1-005	
S01-1-006	
S01-1-007	
S01-1-008	
S01-1-009	

話し合いの対象になった支援対象者

利用可	選択済み
01-1-001	
01-1-002	
01-1-003	
01-1-004	
01-1-005	
01-1-006	
01-1-007	
01-1-008	
01-1-009	

参加したアウトリーチチーム以外のメンバー

職種・所属・立場 / 人数

会議の内容

B I U S

2) 入力内容の閲覧・集計

1) で入力した内容は、以下の手順で閲覧・編集・集計等を行うことができる。

a. ログイン画面

図 4: ログイン画面の例

The image shows a screenshot of the Salesforce login page. At the top left is the Salesforce logo. Below it is a login form with the following elements: a text input field for 'ユーザー名' (Username), a text input field for 'パスワード' (Password), a checked checkbox for 'ユーザー名を保存' (Save username), a 'ログイン' (Login) button, and a link 'パスワードをお忘れですか?' (Forgot your password?). Below the login button is the text 'アカウントをお持ちでない方 無料サインアップ。' (Don't have an account? Sign up for free). Three callout boxes on the right point to these elements: the first points to the username field, the second to the password field, and the third to the login button.

①ユーザー名の入力

スタッフ人数分のアカウントを研究班が発行する。各スタッフに割り当てられたアカウントには自チームに関する情報のみを閲覧できるように制限がかかっている。

②パスワードの入力

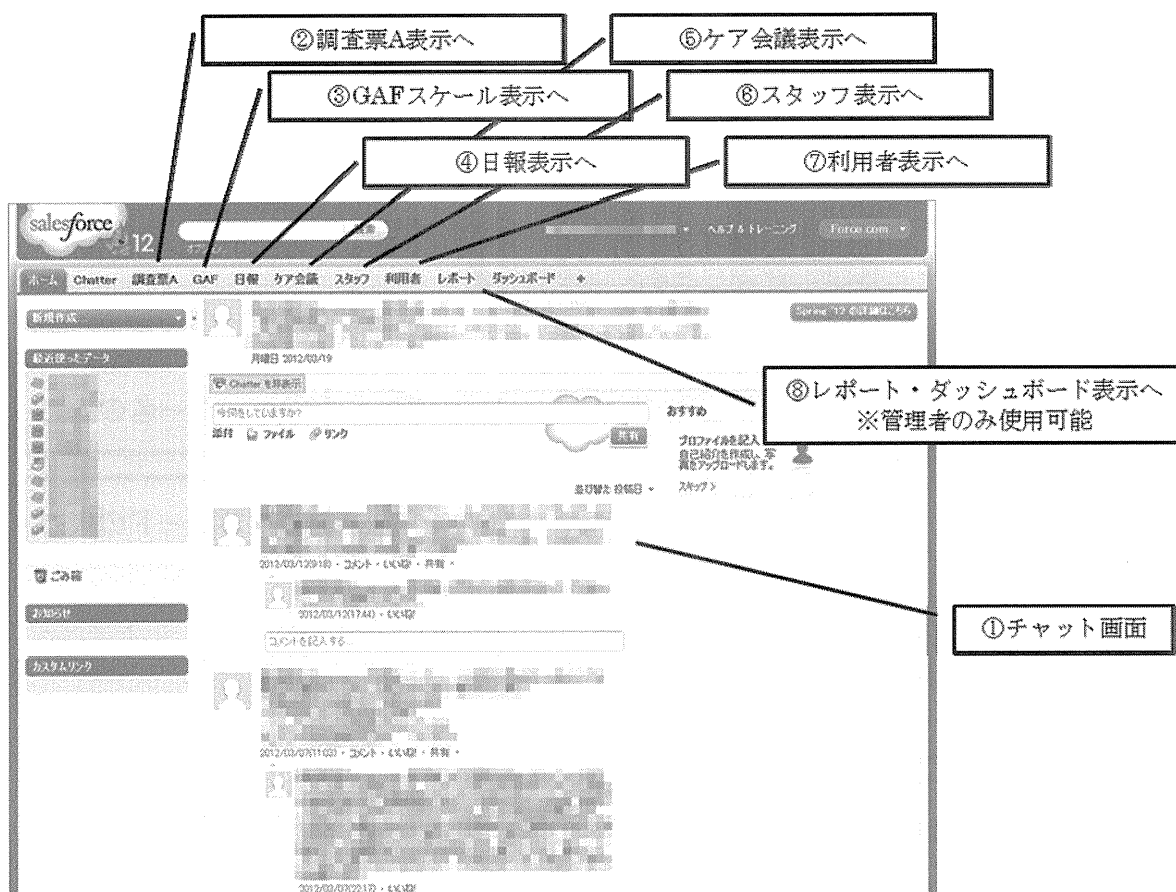
スタッフごとにパスワードも発行する。

③ログイン

①②が正しく入力されていることを確認し、ログインする。

b. ホーム画面

図 5：ホーム画面の例



①チャット画面

チーム内での情報共有や伝達を想定しているが、設定を変更すれば他チームとの情報交換にも利用できるような仕様である。

②調査票A ③GAF ④日報 ⑤ケア会議 ⑥スタッフ ⑦利用者

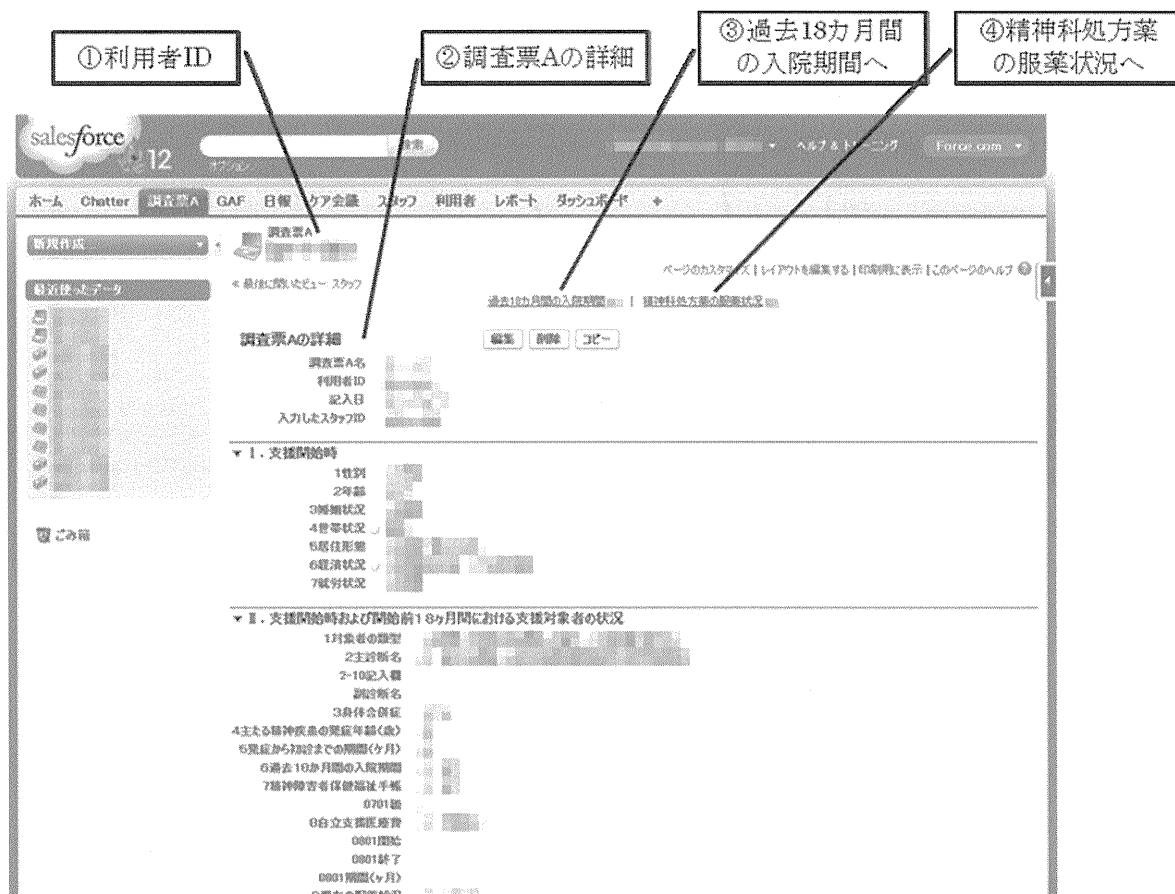
それぞれ、調査票A 閲覧画面、GAF (Global Assessment of Functioning)のスコア入力基準を表示する画面、日報閲覧画面、ケア会議閲覧画面、スタッフ別閲覧画面、利用者別閲覧画面、に移動する。

⑧レポート・ダッシュボード

それぞれ、レポート作成画面、ダッシュボード閲覧画面、に移動する。ただし、これらは管理者権限があるアカウントからログインした場合のみに表示される。

c. 調査票 A の閲覧画面

図 6：調査票 A の閲覧画面の例



①利用者 ID

利用者 ID は 12-3-456 のように表示される。

②調査票 A の詳細

「新規調査票 A」で入力された内容が表示される。各セクションは▼の部分をクリックすると折りたたみが可能であり、入力されている情報量によって閲覧しやすいよう表示を変えることができる。

③過去18カ月の入院期間へ

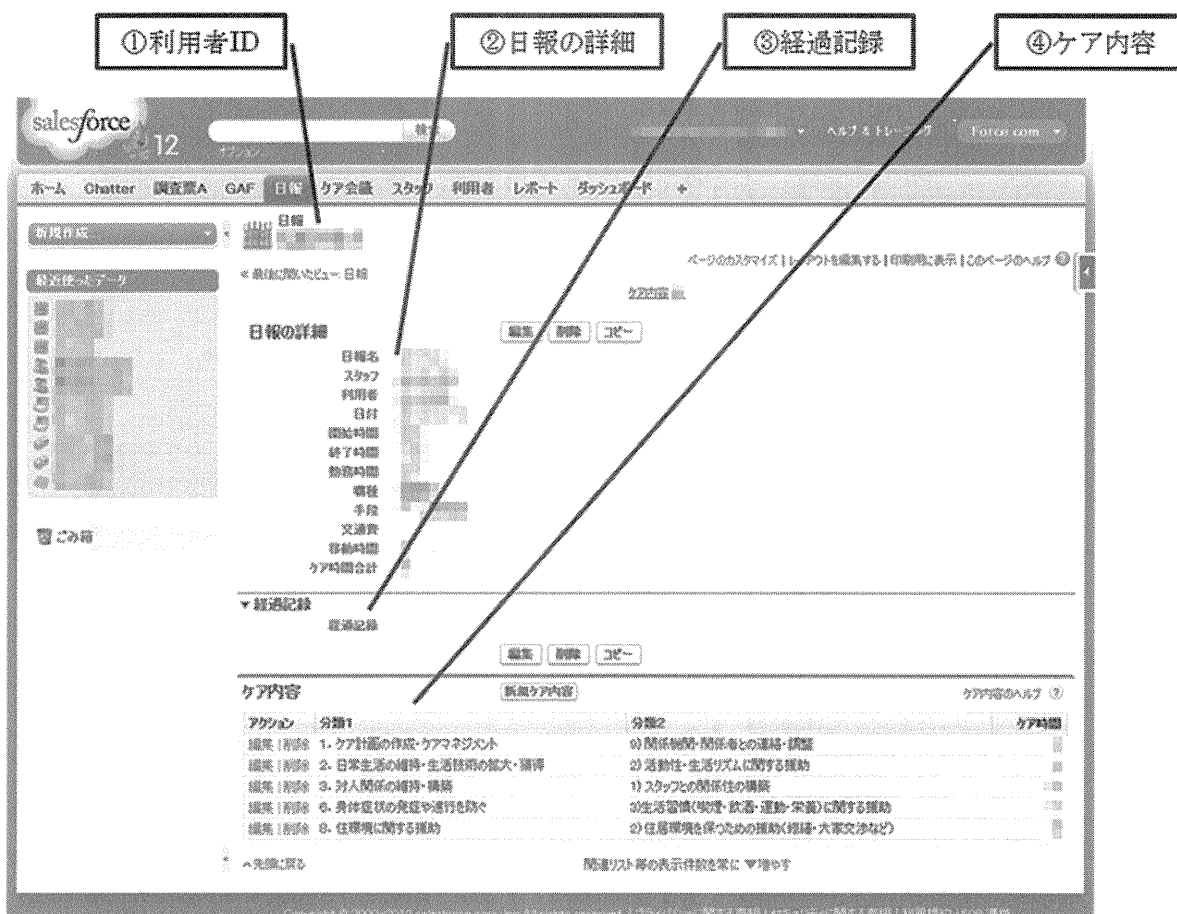
ページ下部にある「過去18カ月の入院期間」表示画面に移動する。

④精神科処方薬の服薬状況へ

ページ下部にある「精神科処方薬の服薬状況」表示画面に移動する。

d. 日報の閲覧画面

図 7：日報の閲覧画面の例



※日報は基本的にこの閲覧画面からではなく、スタッフ別閲覧画面から入力する。

①利用者 ID

利用者 ID は 12-3-456 のように表示される。

②日報の詳細

「新規日報」で入力された内容が表示される。

③経過記録

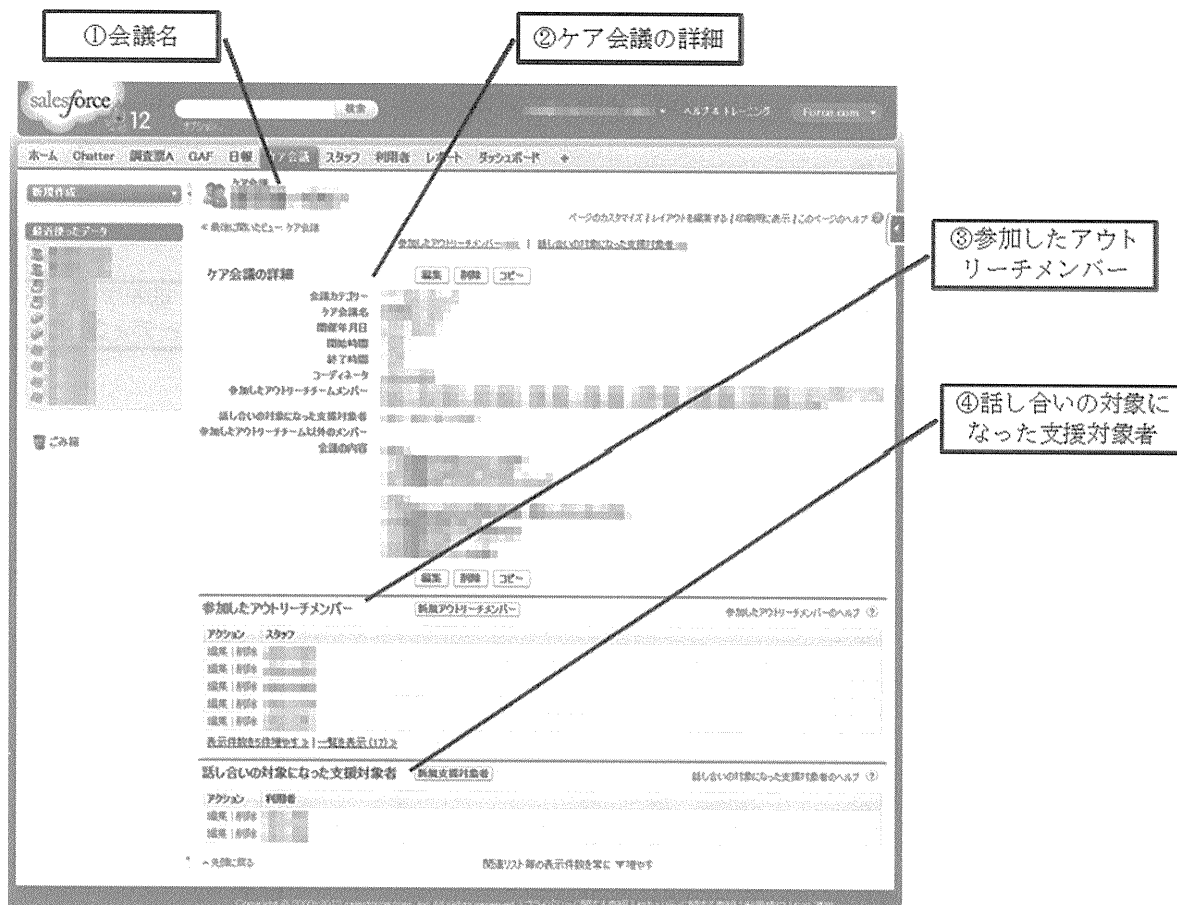
必須項目ではないが、ケア内容等を自由に入力できる項目を用意している。本研究の日報を、研究用のみならずチーム内の記録としても利用することも可能である。

④ケア内容

この項目は「新規日報」に入力し保存した後に表示される。「新規ケア内容」をクリックして作成された「ケア内容」は「日報名」と紐付けされ管理される。ここではカテゴリー化されたケア内容と、それぞれのケア時間を入力するが、ケア時間の総計+移動時間=勤務時間にならないとエラーになる。

e. ケア会議録の閲覧画面

図 8：ケア会議録の閲覧画面の例



① 会議名

任意の会議名をつけることができる。

② ケア会議の詳細

「新規ケア会議」で入力された内容が表示される。

③ 参加したアウトリーチメンバー

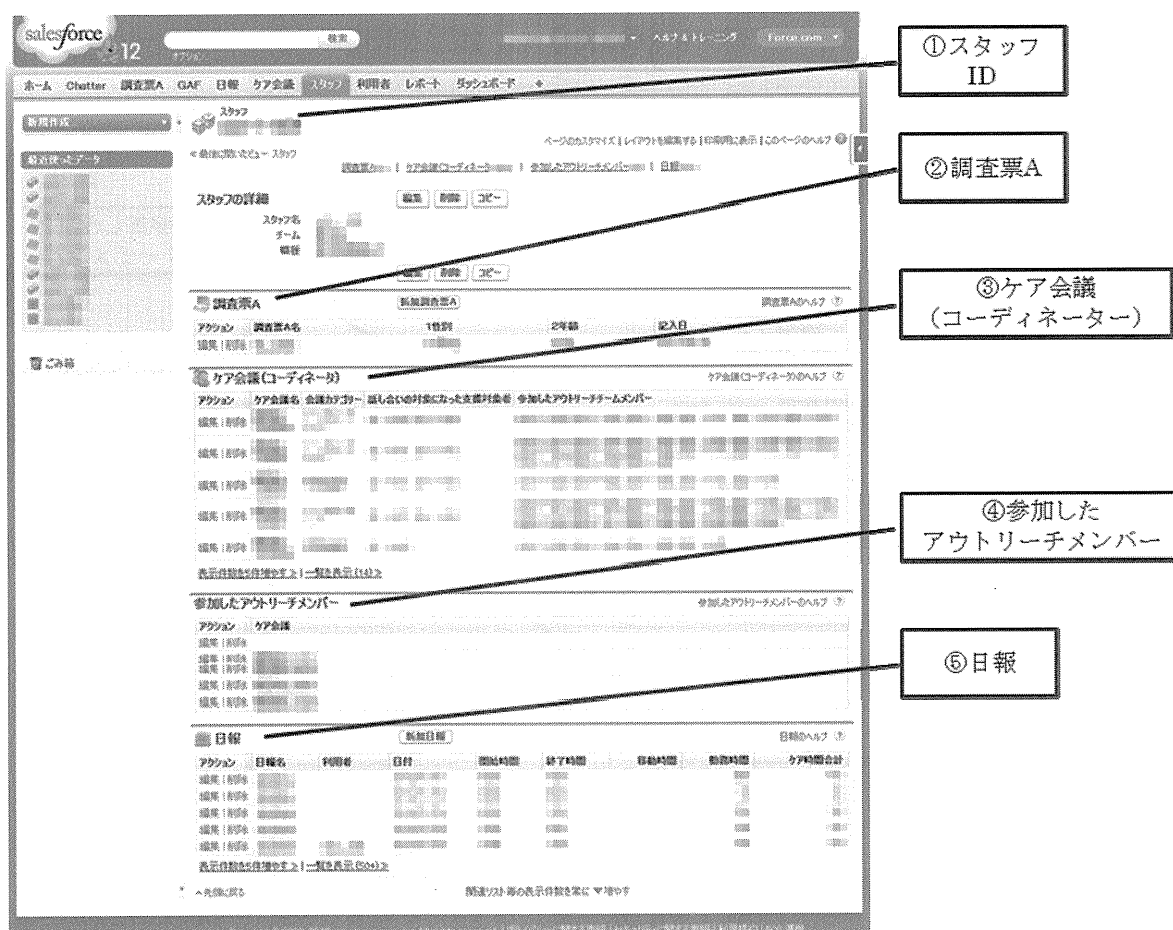
「新規ケア会議」に入力し保存をした後、表示される。「新規アウトリーチメンバー」に、ケア会議に参加したスタッフを登録すると、各スタッフのページにもリンクさせることができる。なお、「②ケア会議の詳細」にも同様の項目が存在するが、こちらに入力するだけではリンクされない。

④ 話し合いの対象になった支援対象者

「新規ケア会議」に入力し保存した後、表示される。「新規支援対象者」に、ケア会議で話し合われた支援対象者（利用者）を登録すると、各利用者のページにもリンクさせることができる。なお、「②ケア会議の詳細」にも同様の項目が存在するが、こちらに入力するだけではリンクされない。

f. スタッフ別閲覧画面

図 9：スタッフ別閲覧画面の例



※各スタッフは業務終了後、この画面の下部にある「新規日報」をクリックして日報の作成を開始する。この手順を踏むことで日報には自動的にスタッフ ID が入力されるため、入力時間が短縮されるとともに、入力ミスを防止することができる。

①スタッフ ID

スタッフ ID は s12-3-456 のように、ID の先頭に s が付く。

②調査票 A

このスタッフが入力した調査票 A が一覧表示される。

③ケア会議 (コーディネーター)

このスタッフがコーディネーターとして参加したケア会議が一覧表示される。

④参加したアウトリーチメンバー

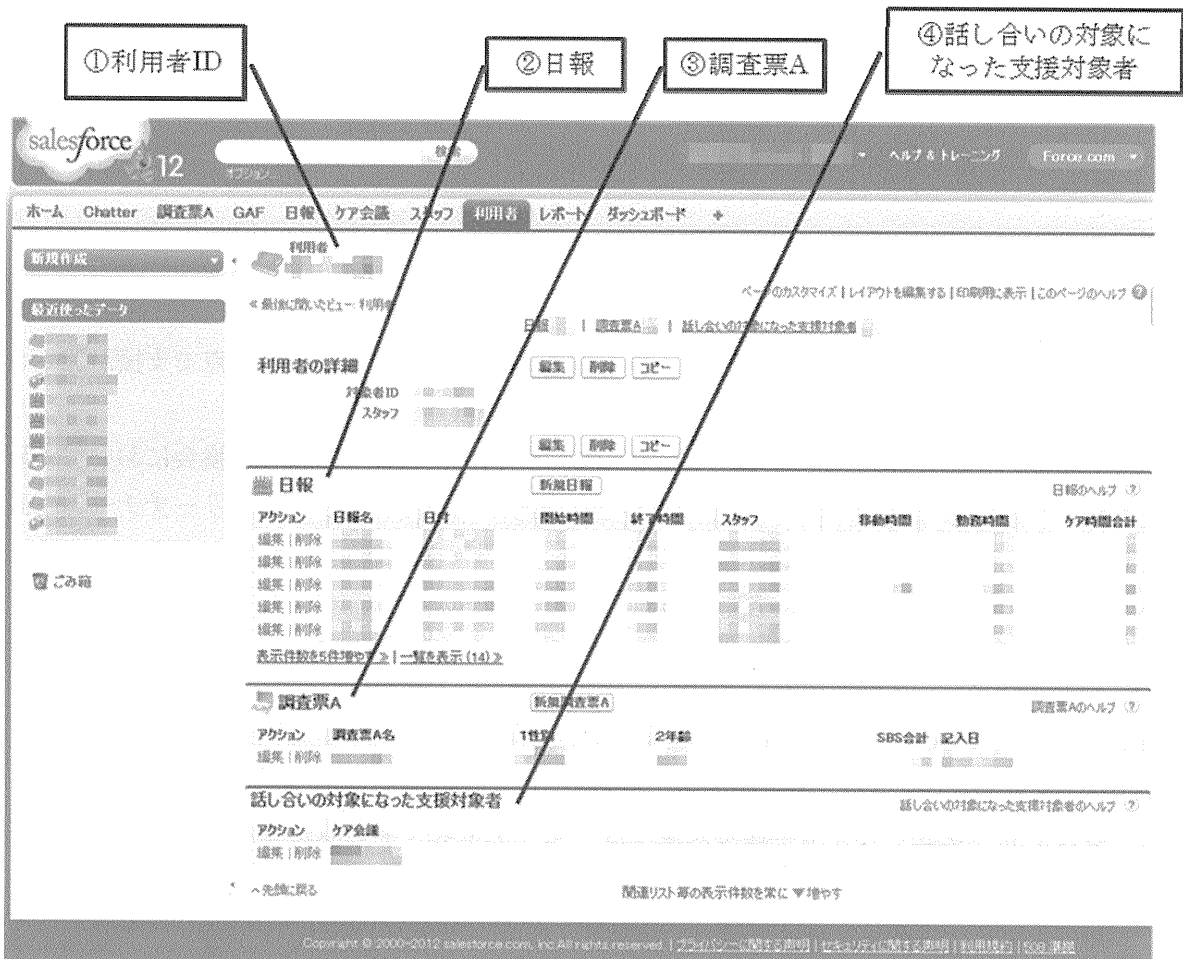
このスタッフが参加したケア会議が一覧表示される。

⑤日報

このスタッフに紐付けされた (関与した) 日報が一覧表示される。

g. 利用者別閲覧画面

図 10：利用者別閲覧画面の例



※日報は基本的にこの閲覧画面からではなく、スタッフ別閲覧画面から入力する。

①利用者 ID

利用者 ID は 12-3-456 のように表示される。

②日報

この利用者に紐付けされた（関連した）日報が一覧表示される。

③調査票 A

この利用者の調査票 A が表示される。

④話し合いの対象になった支援対象者

この支援対象者（利用者）について話し合われたケア会議が一覧表示される。

C. 事例調査

1. 調査方法

1) 調査書式

作成した調査書式（資料 2-1）を用いて、本年度本事業を実施した圏域のうち、2 自治体 3 圏域での支援の実態を詳細に分析することとした。

2) 調査の流れ

(1) 研究者から都道府県（検討委員会）・アウトリーチチームへの説明

調査の流れは図 11 のとおりである。本事業開始時から 1 月末までの時点で支援が開始され本研究に同意が得られた事例について、調査を依頼した。

平成 23 年 8 月、10 月の厚生労働省における意見交換会および情報交換会において、研究者より、別紙 1 を用いて本研究の内容を都道府県担当者およびアウトリーチチームに説明をした。その後、資料 2-2 を用いて研究実施への同意を確認した。各事業担当者は本研究の透明性を確保するために、各都道府県の広報誌等への掲載、ポスター掲示、パンフレットの配布、インターネット等の広報活動を各自治体およびアウトリーチチームが拠点とする施設に依頼し、事業および本研究の存在を広く市民に周知させることとした。

(2) アウトリーチチームから対象者への説明

アウトリーチサービスの支援対象者には、チームより、支援対象者の状況に応じてサービス開始から終了までの間、サービス担当者が適切と判断したいずれかの時点で資料 3-1 を用いて本研究に関する説明を行い、資料 3-2 を用いて同意を確認した。また、支援対象者が精神症状等のため同意書に記入できない場合、家族等の代諾者に署名してもらった。支援対象者（または代諾者）の同意書は検討委員会が管理することとした。

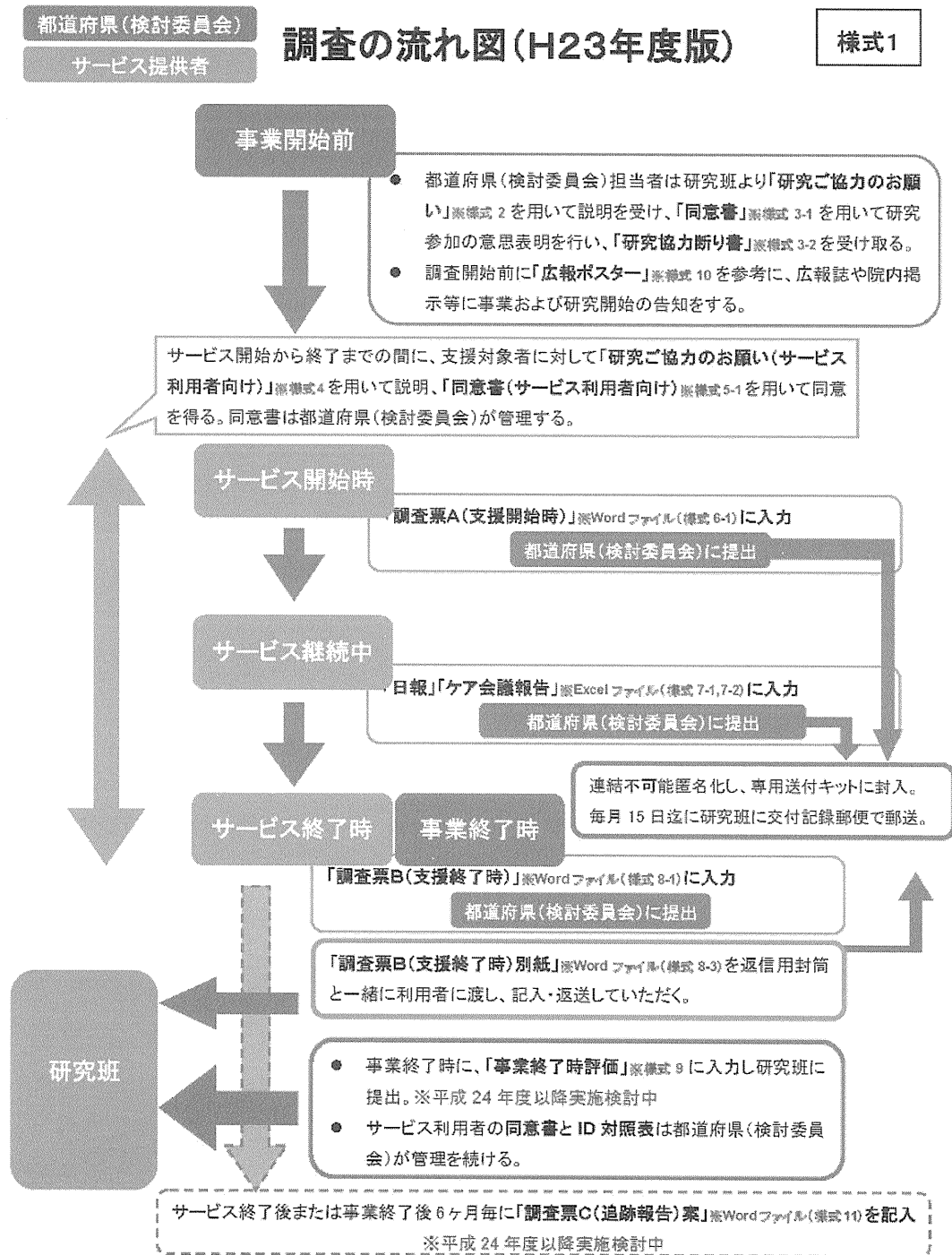
(3) 調査票の記入および授受

チーム担当者・都道府県には、記載した調査票を連続不可能匿名化したものを、毎月月末までの記録を翌月 15 日までに研究班（聖路加看護大学精神看護学研究室）まで返送を依頼した。スタッフと利用者個人はすべて ID で記録され、データを入れた USB フラッシュメモリをパスワードで保護し、配達記録郵便で郵送してもらった。

(4) 分析

図 11 の調査の流れ図のうち、本報告書では平成 24 年 1 月末時点までの、調査開始時（調査票 A）、サービス継続中の情報（ケア内容、日報）の記録内容をもとに、ケースの概要および基礎集計、ケースの詳細、アウトリーチチームの概要について、以下にまとめた。

図 11：調査の流れ図



(5) 倫理的配慮

本研究は、聖路加看護大学研究倫理審査委員会の承認を得て実施した(承認番号 11-032)。検討委員会へは研究参加にあたり事前に同意書を取得し、利用者については、支援の過程で同意が取得できる時期に同意書を取得した。本調査の実施にあたっては、各施設で周知することとした。データはすべて ID で管理され、ID 対照表は各都道府県(検討委員会)が管理した。データは、パスワードをかけた配達記録郵便で聖路加看護大学精神看護学研究室の研究チームへ送られ、研究室内の鍵がかかる場所で保管し、研究班メンバー以外がアクセスできないようにした。支援対象者へは、研究参加の意思を撤回できるよう、あらかじめ支援対象者にはサービス提供者を通じて断り書の様式と、研究者に直接返送するための返信用封筒を渡しておき、研究参加を中止したいと考えた時点で支援対象者は研究者に直接断り書を郵送することができるようにした。

2. ケースの概要

1) 対象 10 事例の性別・年齢・主診断名・類型・GAF スコア・SBS スコア

今年度本事業を実施した 3 圏域で支援の対象となった事例は 10 事例であった。次ページに、その概要を示す（表 4）。

事例の性別は、男性 9 例、女性 1 例で、年齢は 20～30 代 2 名、40～50 代 6 名、60 歳以上が 2 名で、10 代の対象はいなかった。主診断名は F2 統合失調症 7 名、F3 気分障害 1 名で、その他の 2 名は未受診のため診断名は不明であった。

対象の類型は、受療中断者 5 名と最も多く、引きこもり状態 2 名、長期入院の後退院または入院の繰り返し 2 名、未受診が 1 名であった。精神機能の全体評価（GAF 得点）は、20 点が 1 名、30 点台が 2 名、40 点台が 1 名、50 点台が 1 名、60 点以上が 2 名で不明 3 名であった。社会行動評価（SBS 得点）は 10 点以下が 1 名、10 点台が 3 名、20 点台が 2 名、30 点台が 3 名で、2 名が不明であった。